



伊那市創造館活動報告 2011年4月～7月

開館1周年記念フォーラム「昭和初期のモダン建築」

近代モダン建築



近代建築の魅力について、明るく、楽しく話す古田氏。時にはウクレレをつま弾き、替え歌まで披露して下さいました。



パネラーの春日氏、沖村氏。

5月28日、創造館開館1周年を記念するフォーラム「昭和初期のモダン建築」が開催されました。

第1部は古田智久氏（近代建築研究者・横浜市役所建築局）による基調講演「建築家・森山松之助 人と作品」。明治・大正・昭和初期に、台湾と日本で多彩な作品を作り続けた建築家・森山松之助の魅力について、たっぷりとお話いただきました。

第2部では春日博人氏（上伊那図書館後利用基本計画策定委員会委員長）、沖村陽一氏（リニューアル工事設計監理担当）を交えてのパネルディスカッションが繰り広げられました。

上伊那図書館時代の秘話や、リニューアル工事を行うことで見えてきた当時の手の込んだ仕事ぶり、基本設計者・森山松之助と実施設計者・黒田好造、実質的な施主・武井覚太郎との関係についても語られました。

パネラーたちは「生まれ変わった創造館で、新しい世代が新しい体験をしてほしい。同時に歴史ある建物を愛して、大切にしていってほしい」と話していました。



会場には熱心な建築ファンが集まりました。



片倉館
昭和3年・諏訪市



東京歯科大学専門学校 昭和4年・水道橋（現存せず）



上伊那図書館（昭和5年）は、森山松之助設計の上記2つの名建築の影響を、確実に受けていると思われます。

「宇宙の学校2011 in 伊那」開校式・第1回スクーリング

6月18日、認定NPO法人「子ども・宇宙・未来の会(KU-MA)」との連携による「宇宙の学校2011 in 伊那」が、伊那市武道館を会場に開校しました。

参加者は市内の小学1年生～4年生の子どもとその保護者、73組158名。

KU-MA会長/JAXA名誉教授の的川泰宣氏の記念講演の後、親子での熱気球作りに挑戦しました。大きなビニール袋4枚を貼り合わせ、好きな絵を描いて完成させた熱気球に、パーナーからの熱い空気を送り込み、カウントダウンと共に打ち上げです。勢いよく天井まで飛んで行く熱気球に、大きな拍手と歓声があがりました。

宇宙の学校は年に4回のスクーリングと家庭学習を通じて、親子がいっしょに科学の心を学ぶ活動です。

宇宙の学校 in 伊那



的川先生の講演に耳を傾けます。



気球に絵を描く子どもたち。



第4回企画展「修二が見た亜米利加」

第4回企画展 伊澤修二生誕160年記念展「修二が見た亜米利加」を5月20日から7月31日まで開催しました。旧高遠藩、現在の伊那市高遠町で生まれた伊澤修二は、日本初の音楽教科書を作り、東京音楽学校(現:東京藝術大学)の初代学長を務めるなど、近代音楽教育の基礎を築きました。この修二のアメリカ留学時代に焦点をあて、そこで何を見て、何を学び、その後の日本にどのような影響を与えたのか、約80点の貴重な資料とともに振り返りました。

企画展オープニングセレモニーでは、日本初の音楽教科書『小学唱歌集』の中から「見わたせば(むすんでひらいて)」など2曲を、高遠小学校合唱団が当時の歌詞のままに歌い、聴衆を魅了しました。



▲ オープニングを飾った
子ども達の歌声



▲ 美しい留学中のノート



▲ 音楽が流れるパネル

今回の展示では、修二が留学中に記した講義ノートを全て公開しました。130年前に書かれた美しい英字や挿絵が描かれたノートに、郷土の偉人の努力のあとを感じた人も多かったようです。

注目を集めたのは『小学唱歌集』に収められた唱歌と、その元となった西洋の原曲をボタン一つで聴き比べができる「音楽が流れるパネル」のコーナーです。誰もが知っている唱歌のメロディが実は西洋の賛美歌やオペラの曲だったことに、子どもから大人まで驚き、楽しんでもらえました。

また、7月2日には、この企画展に併せて、伊澤修二の研究者3名を招き特別講演会を開催しました。

会場の創造館講堂には約70名の聴講者が集まり、伊澤修二の業績や最新の研究動向に熱心に耳を傾けていました。

創造館には400点を超える伊澤修二関係資料が所蔵されていますが、その資料的価値を再認識した講演会でした。



▲ 7月2日特別講演会の様子

巨大!?「つくルン」像完成!



伊那市創造館では、国の重要文化財「顔面付釣手形土器」と「神子柴遺跡出土品」を常設展示しています。これら伊那市の貴重な文化財や創造館を多くの皆さんに知っていただくために、昨年、「顔面付釣手形土器」をモチーフにしたマスコットキャラクターのデザインを市内の小中学生から、名前を市民の皆さんから募集しました。

デザインは114点、名前は69点と多くの応募をいただき、その中から選ばれ誕生したのが「つくルン」です。

この「つくルン」の立体像は、野焼き用陶土で製作し、焼き上げました。高さ53cm、重さ9.5kgの「つくルン」像は、この夏から創造館エントランスホールで来館されるみなさんを出迎えます。



▲ 全114点の応募作品を展示したデザイン展も開催しました。

創造館マスコットキャラクター



伊那市創造館 INA-CITY SOUZOU-KAN

〒396-0025 伊那市荒井 3520 番地

Tel: 72-6220 Fax: 74-6829

Mail: szk@inacity.jp

※ お車でお越しの方は、「いなっせ駐車場」をご利用ください。

8月の休館日

2日・9日・16日

23日・30日